

平成 29 年度

## 川崎メカニズム認証制度応募要領

### 【応募受付期間】

平成 29 年 6 月 1 日 (木) ~ 平成 29 年 8 月 31 日 (木)

応募にあたっては、あらかじめ事前応募登録書を提出して  
いただく必要があります。(平成 29 年 8 月 10 日まで)  
余裕を持って手続きを行って下さい。



低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会事務局・連絡先

川崎市環境局地球環境推進室

E-mail: 30titan@city.kawasaki.jp (\*30: 数字で"30")

TEL: 044-200-3872 FAX: 044-200-3921

低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会ホームページ

<http://www.k-co2brand.com/>

## 目次

1	目的と特徴.....	1
2	製品・技術等の概念と分類.....	3
3	認証基準.....	3
4	域外貢献量および機能単位当たりの削減量の認証・公表.....	4
5	応募要件（応募者要件）.....	5
6	応募方法.....	6
7	募集説明会・算定講習会・個別相談会.....	8
8	その他.....	10
9	事前応募登録書.....	11
10	申請書様式.....	12
11	低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド同時認定申請書.....	21

## 1 目的と特徴

世界共通の課題である地球温暖化対策の推進にあたっては、「環境」と「経済」の調和と好循環を図りながら取り組んでいくことが重要となります。川崎市では、平成25年度から市内企業の環境技術が、製品・技術、サービス（以下「製品・技術等」という。）のライフサイクル全体を通じて、市域外で温室効果ガスの削減に貢献している量（域外貢献量）を「川崎メカニズム認証制度」として認証してきました。低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会（以下「協議会」という。）では、引続き、川崎から地球規模での温室効果ガスの更なる排出削減に繋げるため「川崎メカニズム認証制度」を実施していきます。

本事業の目的や特徴等は次のとおりです。

### ■ 川崎メカニズム認証制度の目的

- ▶ ライフサイクル全体<sup>1</sup>でCO<sub>2</sub>削減に貢献する川崎発の製品・技術等を評価し、広く発信することを通して地球温暖化防止を図ります。
- ▶ 市内事業者の優れた製品・技術等の優れた環境技術による原材料の調達から廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を考慮した「市域外での温室効果ガスの削減に貢献する量（域外貢献量）」を定量化し、評価・認証することを通じて、川崎から地球規模での温室効果ガスの更なる排出削減に繋がります。

### ■ 川崎メカニズム認証制度の特徴

- ▶ 製品・技術等のライフサイクル全体を通じた川崎市域外でのCO<sub>2</sub>削減量（域外貢献量）を認証します。
  - ▶ 本事業への応募、広報を通じ、CO<sub>2</sub>削減量算定の考え方を普及させることも目的としています。
  - ▶ 講習会・相談会を開催し、削減量の算定方法や申請書等の記入方法に関する説明を行います。
  - ▶ 実際に申請書を作成する際には、協議会が委託する支援機関が申請者ごとに助言、支援を行います。
- ▶ 域外貢献量の認証過程で算定する、製品1台当たり\*の削減量「ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減量」を認証します。

※具体的には算定する際に設定した単位あたりの削減量を認証します。製品1台あたりのほか、単位重量あたり、単位体積あたりなどが考えられます。
- ▶ 原材料調達時・製品使用時のCO<sub>2</sub>排出削減や低CO<sub>2</sub>技術の開発等、製品・技術等のライフサイクル全体を通じた川崎市域外での温室効果ガスの排出削減への貢献を対象とします。
  - ▶ 最終製品だけでなく、素材や部品等の製品、サービスも対象とします。
  - ▶ 製造業だけでなく、非製造業を含む幅広い業種、団体を対象とします。
  - ▶ 組織の規模を問わず、中小企業・団体を含めた幅広い取り組みを対象とします。
  - ▶ 生産活動だけでなく、製品の研究開発や製造プロセスの技術移転による貢献も対象とします。

<sup>1</sup> ライフサイクル全体とは、製造工程でのCO<sub>2</sub>削減だけでなく、使用時の省エネルギーや、廃棄物を原料として調達することによるCO<sub>2</sub>排出量等を含む全体を意味します。

## ■ 川崎メカニズム認証制度において認証されると

下記の優遇やメリットを受けることができます。(平成29年6月現在)

- 川崎市事業活動地球温暖化対策計画書制度への認証数値の反映
- 認証数値の製品PRやCSRへの活用
- 川崎国際環境技術展やエコプロなどでのブース展示
- かわさき低CO<sub>2</sub>ビジネス交流会でのプレゼンテーション
- ホームページや川崎市、川崎市産業振興財団、川崎商工会議所の各種広報媒体等による広報
- 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド応募に係る申請書の一部省略
- 川崎メカニズムロゴマークの使用



## 2 製品・技術等の概念と分類

域外貢献量を算定する市内事業者等の製品・技術等は、次のいずれにも該当するものとします。また、市内事業者等の域外貢献活動は下表のように分類されます。（「域外貢献量算定ガイドライン」参照）

- (1) 原材料調達から廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を考慮し、従来の製品・技術等と比較して削減に寄与する製品・技術等
- (2) 川崎市域外における温室効果ガス排出量の削減に貢献するもの

図表 1 域外貢献活動の分類

分類	内容
研究開発	川崎市内で研究開発された技術により貢献
ものづくり (素材・部材)	川崎市内で製造された素材・部材が川崎市内外で最終製品化され貢献
ものづくり (最終製品)	川崎市内で最終製品化され貢献
エネルギー供給	川崎市内で発生させたエネルギーが川崎市外に供給され貢献
その他	上記に属さないもの

## 3 認証基準

域外貢献量算定ガイドラインに基づき算定された域外貢献量について、次の事項の妥当性等を審査し、域外貢献量の数値等を認証します。

### (1) 域外貢献の基本的な要素

- ア 域外貢献の類型の設定
- イ ライフサイクル全体での削減の視点
- ウ 追加性・独自性・先進性

### (2) 具体的な域外貢献量の算定方法

- ア ライフサイクル評価に基づく川崎市域外での正味の削減量設定方法
  - ・評価対象製品・技術等の設定方法
  - ・機能単位の設定方法
  - ・比較対象製品・技術等の設定方法
  - ・評価バウンダリの設定方法
  - ・データの収集方法 など
- イ 川崎市内の事業者による貢献度（削減寄与率）の設定方法
  - ・削減寄与率の設定方法
  - ・データの把握方法 など
- ウ 川崎市域外への普及量の把握方法
  - ・普及量計上時期及び普及量の範囲
  - ・普及量の把握・設定方法 など

#### 4 域外貢献量および機能単位当たりの削減量の認証・公表

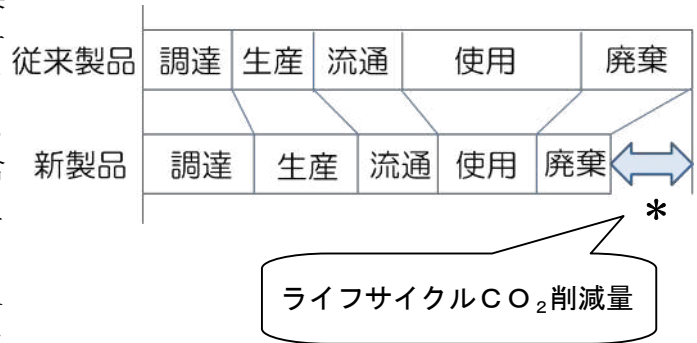
川崎メカニズム認証制度は、市内事業者の製品・技術等が川崎市域外でCO<sub>2</sub>の削減に貢献する量である域外貢献量を評価する仕組みです。また、その過程で算定する機能単位当たりの削減量「ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減量」についても認証します。

##### (1) 機能単位当たりの削減量「ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減量」の認証

川崎メカニズム認証制度では、域外貢献量の認証過程で算定する、製品・技術等の温室効果ガス削減量として、機能単位当たりのライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>を削減する量「ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減量」(右図\*)を認証しています。

これは、川崎市域外だけでなく、市域内も含めた削減量であることから、認証された値はこれまで自社独自で算定したLCAの数値とのリンクが可能となり、製品パンフレットやCSR報告書への記載など様々な用途に活用することができます。

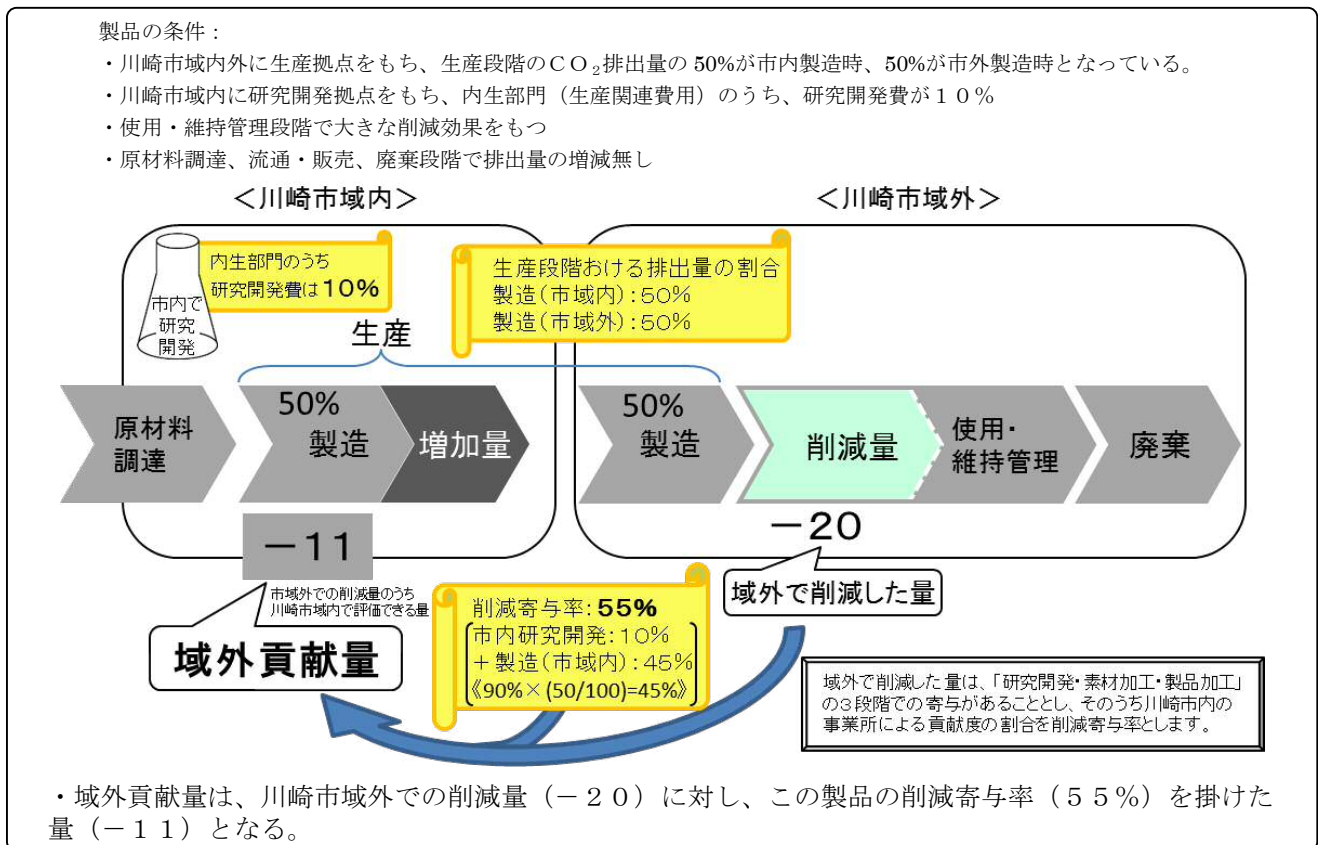
図表2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減量のイメージ



##### (2) 域外貢献量の認証

市内事業者の製品・技術等が川崎市域外でCO<sub>2</sub>の削減に貢献する量を見える化する仕組みである域外貢献量の評価イメージは次のとおりです。

図表3 域外貢献量の評価イメージ ~ある製品の域外貢献量~



※上図は使用時の削減をイメージしたのですが、原材料調達や、流通・販売、廃棄など、他の段階での市域外での削減も同様に評価可能です。

### (3) 協議会による認証結果の公表

協議会が認証結果を公表することで、市内事業者の優れた環境技術を広くアピールし、市内事業者の持つ製品・技術等の技術移転や産業振興の促進に繋がります。

#### ア 公表事項

対象製品・技術等に係る次の認証結果を公表します。

- ・製品・技術等の名称
- ・製品・技術等の概要・特徴
- ・認証した域外貢献量
- ・認証した機能単位当たりの削減量
- ・その他協議会が必要と認める事項

#### イ 公表方法

協議会ホームページや、川崎市、川崎市産業振興財団、川崎商工会議所の各種広報媒体等に掲載を予定しています。

## 5 応募要件（応募者要件）

(1) 域外貢献活動のいずれかの分類（4 ページ参照）に該当する製品・技術等であり、次の各事項を満たしていること。

- ① 製品・技術等に関わる製造又は研究開発等の拠点となる事業所が市内にあり、過去1年以上の操業実績があること。
- ② 応募する製品・技術等について、前年度の販売・提供実績があること。
- ③ 本事業の審査等の過程において、審査機関や評価委員会、協議会の求めに応じて、必要な資料等の提供を行うことに事前に同意できること。
- ④ 認証を受けた場合に下記の事項への協力を事前に同意できること。
  - ア 製品・技術等の販売（出荷）実績等の普及量に関するデータの継続的な提供
  - イ 川崎メカニズム認証制度ロゴマーク使用規定の遵守

(2) その他、次の各事項を満たしていること。

- ① 応募する製品・技術等の特許等の知的財産権について係争中でないこと。
- ② 過去3年間、行政庁等から法律違反の指摘を受けていないこと。
- ③ 川崎市暴力団排除条例（平成24年川崎市条例第5号）第2条に規定する暴力団、暴力団経営支配法人等ではないこと。
- ④ 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律（平成11年法律第147号）第5条第1項に定める処分を受けていないこと。

## 6 応募方法

### (1) 事前応募登録について

応募検討者は、事前応募登録書を御提出ください。応募に係わる具体的なイメージがない場合でも、提出書類を基に、認定の可能性や申請書作成等についての事前相談を行うことが可能となります。

協議会ホームページ (<http://www.k-co2brand.com/>) に掲載している「**事前応募登録書**」に必要事項を記入のうえ、**申請書（様式第1号）とともに平成29年8月10日までに電子メールで提出**してください。

事前応募登録後、その取り下げも可能ですので、お気軽に御登録下さい。

**応募希望者は、原則、事前応募登録書の提出をしてから、CO<sub>2</sub>排出量算定シート（様式第2号）の作成に着手**して下さい。

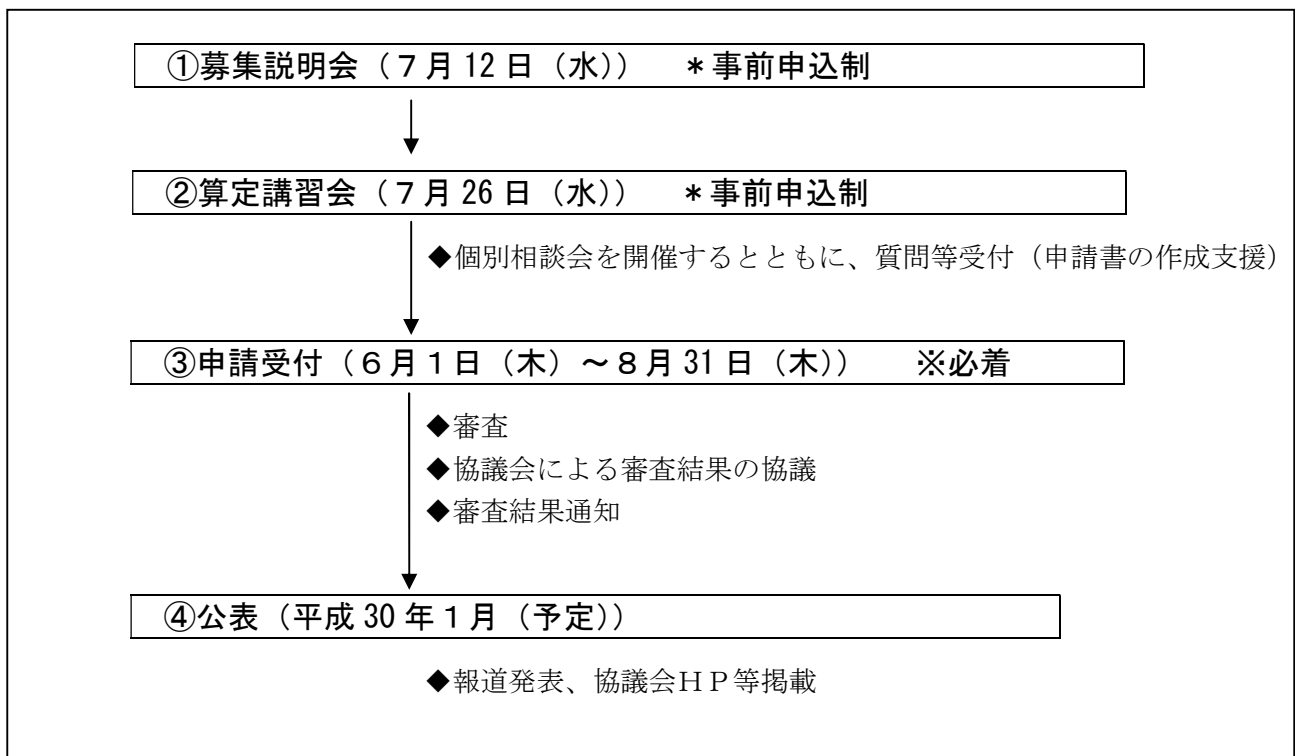
【送付先】低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会事務局（川崎市環境局地球環境推進室）  
メールアドレス [30titan@city.kawasaki.jp](mailto:30titan@city.kawasaki.jp)（※30：数字で”30”）

提出期限：平成29年8月10日

### (2) 応募・審査等のスケジュール

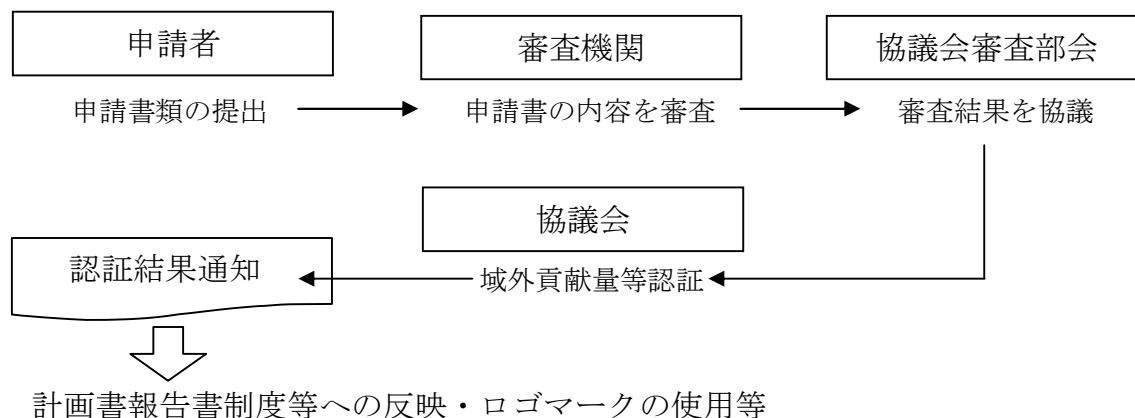
応募希望者は、下記のスケジュールで説明会、算定講習会へ参加し、事前応募登録のうえ、申請書を提出してください。

申請書類の審査は、協議会が委託する審査機関が行います。申請書の不備や申請内容の疑義等について、申請者に対して当該箇所の補正依頼やヒアリングを実施する場合があります。





### (3) 域外貢献量等の認証までの全体フロー



### (4) 提出書類

応募者は、応募案件ごとに、下記の書類について、電子媒体（電子メール送信）及び書面（**各1部**をA4版でプリントアウトの上、郵送）を提出してください。

#### <提出書類一式>

- 申請書（様式第1号）
- 「別紙 CO<sub>2</sub>排出量算定シート」（様式第2号）
- 市民税納税証明書（写し可）
- 事業概要の説明資料
- 応募案件（評価対象及び比較対象）の概要や仕様を示したパンフレット・説明資料等
- 機能単位の設定の説明資料
- 評価バウンダリの設定の説明資料
- 使用時の消費電力量、寿命の延長（使用回数の増加）など、結果を大きく左右するデータについて根拠となる資料
- 企業独自のデータベースを使用する際には、主要な原単位について、その取り扱いについての考え方を整理した資料（一般的なデータベースとの比較検討）
- 削減寄与率について説明した資料
- 川崎市域外への普及量について説明した資料
- 審査・認証基準を満たすことを示す説明書類
- その他、事務局が必要と認める資料

※ 当該年度に同一製品技術等において低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの同時認定を希望する場合には、低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの申請書等を全て作成する必要はありません。川崎メカニズムの申請書に低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの認定基準を満たすことを示す説明資料（低CO<sub>2</sub>川崎ブランド同時認定申請書、22ページ参照）を添付してください。

#### ■申請書等様式ダウンロード

様式は下記ホームページから入手してください。

<http://www.k-co2brand.com/>

## ■ 提出・問い合わせ先

低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会事務局（川崎市環境局地球環境推進室）

（郵送）〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会事務局（川崎市環境局地球環境推進室） 宛

（電子メール）E-mail：30titan@city.kawasaki.jp （\*30：数字で“30”）

※データを電子媒体（USB不可）に入れて書類とともに郵送していただくことも可能です。

（電話・FAX）TEL：044-200-3872 FAX：044-200-3921（問い合わせのみ）

## （5）応募料及び審査料

応募料及び審査料は無料です。

但し、申請書類の作成等にかかる費用については、応募者の自己負担となります。

## （6）低CO<sub>2</sub>川崎ブランドとの関係性

低CO<sub>2</sub>川崎ブランドは、ライフサイクル全体を通じてCO<sub>2</sub>削減に貢献する川崎発の製品・技術等をブランド認定し、広く発信することを通して地球温暖化防止を図るものです。この制度と連携しながら、川崎の特徴・強みを活かした地球温暖化対策の推進を図っていきたいと考えています。低CO<sub>2</sub>川崎ブランドに認定されると川崎国際環境技術展での認定発表会やブース展示、ロゴマークの使用など、更なる特典がございますので、あわせて積極的な応募をお願いします。

低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの応募などの情報は下記ホームページを参照下さい。

<http://www.k-co2brand.com/>



## 7 募集説明会・算定講習会・個別相談会

募集説明会と算定講習会等を低CO<sub>2</sub>川崎ブランドと合同で次のとおり実施します。

### （1）募集説明会

川崎メカニズム認証制度の制度内容や平成29年度の募集内容などについて、広く周知することを目的として、次のとおり説明会を開催します。

応募を希望する方は、できる限り御出席ください。

なお、参加される方は事前申し込みをお願いします。

日時：	平成29年7月12日（水） 15：00～16：30
場所：	かながわサイエンスパーク イノベーションセンタービル西棟7階 701会議室 （テクノトランスファーinかわさき2017開催期間中）
申し込み先：	低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド等推進協議会事務局（川崎市環境局地球環境推進室）
申し込み方法：	参加を希望される方は、7月7日（金）までに、上記宛に、企業・団体名、所属、役職、氏名、連絡先（E-mailアドレス、電話番号）を明記の上、 <b>件名に「募集説明会参加申込み」と記載し、電子メールにてお申し込みください。</b> 申し込みいただいた方は原則すべて参加可能とし、受付票等の送付はしません。

## (2) 算定講習会

域外貢献量算定ガイドラインを基本に、域外貢献量の算定方法についてLCAの専門家を招いて説明します。また、LCAの考え方などについても事例を用いて紹介します。

この算定講習会は、応募希望者が申請書類に記入するためのアドバイスを行うことを目的としていますが、同時に、市内企業の製品等のイノベーション及び競争力の増大を図るため、応募希望者以外の参加も受け付けます。応募希望の方は、できる限り御参加下さいますようお願いいたします。また、企業内における算定方法の共有を進めていただくため、できるだけ複数の方の参加をお薦めします。

なお、算定講習会への参加は事前の申し込みが必要となります。

日時：	平成29年7月26日(水) 14:00~16:00
場所：	川崎市産業振興会館9階 第3研修室 川崎市幸区堀川町66-20 (JR川崎駅西口より徒歩8分)
申し込み先：	低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド等推進協議会事務局 (川崎市環境局地球環境推進室) E-mail : 30titan@city.kawasaki.jp (※30: 数字で“30”)
申し込み方法：	受講を希望される方は、7月20日(木)までに、上記宛に、企業・団体名、所属、役職、氏名、連絡先(E-mailアドレス、電話番号)を明記の上、 <b>件名に「算定講習会申込み」と記載し、電子メールにてお申し込みください。</b>

## (3) 個別相談会

事業者の皆様の個々の製品・技術等に関する域外貢献量の算定方法などについて、LCAの専門家等とともに個別相談を行う機会を設けます。

第1回	日時：	平成29年7月26日(水) (2)の算定講習会終了後
	場所：	川崎市産業振興会館9階 第3研修室 川崎市幸区堀川町66-20 (JR川崎駅西口より徒歩8分)
第2回	日時：	平成29年8月3日(木) 14:00~16:00
	場所：	川崎市産業振興会館9階 第3研修室 川崎市幸区堀川町66-20 (JR川崎駅西口より徒歩8分)
申し込み先：		低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド等推進協議会事務局 (川崎市環境局地球環境推進室) E-mail : 30titan@city.kawasaki.jp (※30: 数字で“30”)
申し込み方法：		個別相談会への参加を希望される方は、それぞれ7月20日(木)、7月28日(金)までに、上記宛に、希望される個別相談会の回、企業・団体名、所属、氏名、連絡先(E-mailアドレス、電話番号)を明記の上、 <b>件名に「個別相談会申込み(第〇回)」と記載し、電子メールにてお申し込みください。参加希望者が定員を超過した場合には、相談時間の調整等をさせていただきます。</b>

## (4) その他申請書作成支援

(1) から (3) の説明会等のほか、川崎メカニズムの申請にあたっては個別に支援を行いますので、御相談事項等がございましたら、事務局・連絡先(表紙参照)に御連絡下さい。

## 8 その他

### (1) ロゴマークの使用について

川崎メカニズム認証制度で域外貢献量の認証を受けた製品・技術等の事業者は、当該製品・技術等に川崎メカニズム認証制度の認証を受けたことを示すマークを認証結果通知日以降に表示し、広告等に活用することができます。このマークは、商標権を持つ川崎市が協議会を通じ、その表示権を無償で供与するもので、事業者・団体には別途定める使用規定を遵守して、責任を持ってマークを管理していただきます。

### (2) 川崎市温暖化防止対策への御協力について

地球温暖化防止対策の推進にあたり、川崎メカニズム認証制度で域外貢献量の認証を受けた製品・技術等の普及量（販売量や出荷量など）に関する情報を、今後継続して御提供いただくよう依頼することがあります。御理解御協力をお願いいたします。

#### 《注意事項》

以下の事項について、あらかじめ承諾のうえ御応募ください。

- ① 申請書類及び審査の過程等で求める資料は返却致しません。
- ② 申請書類及び審査の過程等で虚偽が判明した場合には、応募を無効とします。
- ③ 審査経緯及び認定結果に対する異議の申し立てについては、お受け致しません。
- ④ 結果の公表後に、ブランドとしてふさわしくない事由が判明した場合には、その認定を取り消すことがあります。

#### 《守秘義務》

申請書類その他の提出書類で知り得た情報については、当該事業の審査以外に利用及び公開は致しません。なお、認証された場合には不開示情報（個人情報、法人の正当な利益を害する情報等）を除いて情報公開の対象となります。

#### 《個人情報の取扱について》

御記入いただいた個人情報は、川崎市の個人情報保護条例等に準じて保護され、本事業の実施主体である協議会、また協議会から本事業の運営等に関する委託を受けた業者以外の第三者に提供することは一切ありません。

## 9 事前応募登録書

記入日 年 月 日

### 事前応募登録書

応募を御検討いただける場合は、次の各項目を記入のうえ、申請書（様式第1号）とともに、平成29年8月10日（木）までに下記の提出先宛、電子メールで提出をお願いします。

\*事前応募の御登録をいただいた後、登録取り消しもできますので、お気軽に御登録ください。

\*提出された事前登録書をもとに、申請書作成にあたっての支援や助言をさせていただきます。

\*詳しい内容は、ホームページをご覧ください。

（低CO<sub>2</sub>川崎ブランド ・ 川崎メカニズム認証制度）

いずれか又は両方に○をお願いします。

企業（団体）名	
御担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

応募を予定（検討）している製品・技術、サービスについて

名称	
概要 【申請書様式第1号 の該当部分（3. ②） を転記してください】	

その他、事務局への御意見・御質問・御要望等がありましたら、御記入ください。

○提出先 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会事務局  
（川崎市環境局地球環境推進室 環境技術支援係） 宛  
電子メールで御送付ください。

E-mail [30titan@city.kawasaki.jp](mailto:30titan@city.kawasaki.jp) (\*30:数字で"30")

TEL 044(200)3836・3872

# 10 申請書様式

(様式第1号) 申請書

## 川崎メカニズム認証申請書

平成 年 月 日

(あて先) 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会 会長

※★の項目は、応募要件です。

※各項目の括弧内の数字は「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド認定申請書」の該当する番号を示しています。両制度に申請を行う場合には該当箇所をコピーして記入して下さい。

※川崎メカニズム認証申請書(本書類)に特有の項目の記入欄は緑の網掛け部分です。

### 1. 応募企業の概要等

①会社名 (1. ①)	ふりがな 日本語名	かぶしがいしやかわさき 株式会社川崎		
	英語名	Kawasaki Co., Ltd		
②代表者名 (1. ②)	代表取締役社長 川崎 太郎			
③本社所在地 (1. ③)	〒 210-XXXX 川崎市川崎区〇〇町XX番地			
④応募製品・技術、サービスの 研究開発・製造事業所名 (1. ④) ※本社の場合は不要	株式会社川崎 〇〇事業所			
⑤上記事業所の所在地 (1. ⑤)	〒 XXX-XXXX 川崎市川崎区〇〇町XX番地			
⑥上記事業所の業務内容 (1. ⑥) ※簡単に	アイロン、ドライヤー等の小型電気製品の製造			
⑦業種 (1. ⑦)	電気機器製造業	上記事業所の 従業員数	300	人
⑧担当者及び 担当者連絡先 (1. ⑧)	所属部署	環境部	役職	係長
	氏名	川崎 次郎		
	住所	〒 同上		
	電話	044-200-XXXX	FAX	044-200-XXXX
	E-mail	***@kawasaki.jp		

2. 応募要件

①応募要件への同意 (2. ①)	( <input checked="" type="radio"/> ) 下記の項目全てに該当している
	(1) 製品・技術等に関わる製造又は研究開発等の拠点となる事業所が市内にあり、過去1年以上の操業実績があること。 (2) 応募する製品・技術等について、前年度の販売・提供実績があること。 (3) 本事業の審査等の過程において、審査機関や評価委員会、市の求めに応じて、必要な資料等の提供を行うことに事前に同意できること。 (4) 認証を受けた場合に下記の事項への協力を事前に同意できること。 ア 製品・技術等の販売(出荷)実績等の普及量に関するデータの継続的な提供 イ 川崎メカニズム認証制度ロゴマーク使用規定の遵守 (5) 応募する製品・技術等の特許等の知的財産権について係争中でないこと。 (6) 過去3年間、行政庁等から法律違反の指摘を受けていないこと。 (7) 川崎市暴力団排除条例(平成24年川崎市条例第5号)第2条に規定する暴力団、暴力団経営支配法人等ではないこと。 (8) 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律(平成11年法律第147号)第5条第1項に定める処分を受けていないこと。

3. 応募製品・技術、サービスの概要

①応募製品・技術の固有名称 (3. ①) ※認証された際に紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。	ふりがな	こーどれすすちーむあいろんえつくすえつくすげろに
	日本語名	コードレススチームアイロン「XX02」
	英語名	Cordless Steam Iron "XX02"
②応募製品・技術の概要 (3. ②) ※認証された際に紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。	コードレススチームアイロンXX02は、スチームカバー率(スチームカバー寸法/かけ面寸法)を2倍とすることで、本体をコンパクト化し、原材料を削減した他、使用時の電力消費を削減している。	
③販売・提供実績★ (3. ③) ※該当する項目に○印を記入	( <input checked="" type="radio"/> ) 応募する製品・技術の販売・提供実績がある →発売・提供開始 ( <input checked="" type="text" value="2016"/> ) 年 ( <input checked="" type="text" value="4"/> ) 月	
④評価対象製品・技術の類型★ ※該当する項目に○印を記入	( <input type="checkbox"/> ) 川崎市内で行われたGHG削減に貢献する研究開発が実用化されたもの ( <input type="checkbox"/> ) 川崎市内で製造されたGHG削減に貢献する素材・部材 ( <input checked="" type="checkbox"/> ) 川崎市内で製造されたGHG削減に貢献する最終製品 ( <input type="checkbox"/> ) 川崎市内で生成されたGHG削減に貢献するエネルギーが川崎市域外に供給されたもの ( <input type="checkbox"/> ) その他(具体的な内容を以下にご記入ください) <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	
⑤域外貢献に期待される要素 ※従来製品・技術に比べ、右に記載したような要素を有する場合には具体的に記入ください。 ※認証された際に紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。	●応募製品・技術固有の追加性 (国外も含め川崎市域外において追加的にGHG排出量を削減すること) ●応募製品・技術固有の独自性 (事業者独自の技術を活かしていること) ●応募製品・技術固有の先進性 (先進的な排出削減効果を有していること)	応募製品は、本体のコンパクト化により、従来製品に比べライフサイクルの全ての段階でのCO2排出量を削減することができ、ライフサイクルを通じた削減に大きく貢献している。 2016年度の販売実績(7000台)のうち、中国など日本以外のアジア圏での販売実績が約5割(3400台)であり、日本だけでなくアジア全体での排出削減に貢献することができる。なお、本製品はアジア圏の市場においても、当該製品の高い省エネ性や利便性という観点から消費者に支持されている。
⑥低CO <sub>2</sub> 川崎ブランドの同時認定希望の有無	( <input checked="" type="radio"/> ) 希望する	( <input type="checkbox"/> ) 希望しない
⑦機能単位当たりライフサイクルCO <sub>2</sub> 削減量の認証希望の有無	( <input checked="" type="radio"/> ) 希望する	( <input type="checkbox"/> ) 希望しない

4. 機能単位の設定(算定ガイドライン5.1.2)

①製品・技術の機能 (4. ①) ※応募製品・技術が有する機能、主な性能特性	衣服のアイロン掛け	
②製品・技術・サービスの 使用数量と耐用年数の比較	【応募製品】	【比較対象製品】
②-1 削減効果の計算の前提となる、 製品・技術・サービスを使用する数量 ※年間使用量・使用時間、当該製品による年間 生産量など。応募製品と比較対象製品とで、同 規模の機能を果たすために必要な数量を各々 設定すること。	1日15分	1日15分
②-2 製品・技術、サービスの耐用(使 用)年数	8年間	8年間
	耐用年数の設定根拠	耐用年数の設定根拠
	法定耐用年数	法定耐用年数

5. 比較対象製品・技術等の設定(算定ガイドライン5.1.3)

①比較対象製品・技術等の設定 (4. ③)	比較対象製品・ 技術等の概要	( <input type="radio"/> ) 自社の過去の製品・技術等 ( <input type="checkbox"/> ) 標準的な状況 ( <input type="checkbox"/> ) その他 ( <input type="checkbox"/> )
	選択理由・根拠	応募製品(XX02)の前機種であるコードレススチームアイロンXX01(2014年発売)
	自由記述欄	※他に考えられる比較対象、懸念事項があれば記載



6. 評価バウンダリの設定(算定ガイドライン5.1.4)

<p>①製品・技術、サービスのフロー (4. ④) ※川崎市市内での工程がわかるようにして下さい。右欄に書ききれない場合にはフローを示す資料を添付していただいても構いません。</p>	<p>評価対象製品・技術</p>	
<p>②評価バウンダリの設定 ※該当する項目に○印を記入 ※川崎市市内における活動は評価バウンダリには含めないでください</p>	<p>比較対象製品・技術 (応募製品・技術、サービスのフローと同じであれば省略可)</p>	<p>( ) フローが異なる ( ) 原材料が異なる ( ) その他 ( )</p> <p>同上</p> <p>( <input checked="" type="radio"/> ) 原材料調達段階 ( <input type="radio"/> ) 生産段階 ( <input type="radio"/> ) 流通・販売段階 ( <input checked="" type="radio"/> ) 使用・維持管理段階 ( <input checked="" type="radio"/> ) 廃棄・リサイクル段階</p>
<p>③域外貢献のポイント (3. ⑤) ※比較対象製品・技術に比べ、GHGの削減へ貢献している点およびGHGの排出が増加する点について、ライフサイクル毎にご記入ください。また、各段階について評価バウンダリ外とする場合にはその根拠を記載して下さい。</p>	<p>原材料調達段階 生産段階 流通・販売段階 使用・維持管理段階 廃棄・リサイクル段階</p>	<p>本体をコンパクト化し、従来比20%の原材料削減を実現。包装緩衝材を、発泡スチロールから古紙利用に変更。</p> <p>生産は川崎市市内の工場で行っているため域外貢献の評価バウンダリ外である。</p> <p>本体のコンパクト化により、流通にかかるエネルギー消費量を削減。</p> <p>スチームカバー率を2倍とすることで、スチーム時の電力消費量、水消費量を削減。自動電源オフ機能により、使用時の電源切り忘れによる電力消費量を削減。合わせて従来比15%の電力消費量、水消費量削減を実現。</p> <p>本体のコンパクト化により、廃棄にかかるエネルギー消費量を削減。</p>

7. データの収集(算定ガイドライン5.1.5)

①域外貢献量の算定に使用したデータの概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     様式第2号「8. 収集活動量の根拠となる出典資料」に記載して下さい。                 </div>
----------------------	---

8. 機能単位当たりのライフサイクルCO<sub>2</sub>排出削減量の算定結果

※様式1-2に記入後、自動計算されます。

		算定結果	
①CO <sub>2</sub> 排出削減量	原材料調達段階	1.10E+00	t-CO <sub>2</sub>
	生産段階	2.63E-02	t-CO <sub>2</sub>
	流通・販売段階	3.87E-02	t-CO <sub>2</sub>
	使用・維持管理段階	2.57E+01	t-CO <sub>2</sub>
	廃棄・リサイクル段階	1.62E-02	t-CO <sub>2</sub>
	合計	2.69E+01	t-CO <sub>2</sub>

9. 域外貢献量の算定結果

※様式1-2に記入後、自動計算されます。

		算定結果	
①CO <sub>2</sub> 排出削減量	原材料調達段階	3.66E+00	t-CO <sub>2</sub>
	生産段階		t-CO <sub>2</sub>
	流通・販売段階	1.29E-01	t-CO <sub>2</sub>
	使用・維持管理段階	8.58E+01	t-CO <sub>2</sub>
	廃棄・リサイクル段階	5.40E-02	t-CO <sub>2</sub>
	合計	8.96E+01	t-CO <sub>2</sub>

【提出期限】 平成29年6月1日(木)から平成29年8月31日(木)まで  
 【提出方法】 郵送(各2部をプリントアウト)及び電子媒体(電子メール送信)で下記に提出(詳細は応募要領をご参照ください)  
 【提出先】 <郵送>  
                   〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地  
                   低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会事務局(川崎市環境局地球環境推進室) 宛  
                   <電子媒体>  
                   電子メールアドレス: 30titan@city.kawasaki.jp (30: 数字)

川崎メカニズム認証申請書(CO<sub>2</sub>排出量算定シート)

※1, 2, 8, 9は「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド認定申請書 様式第2号」と同じ内容です。両制度に申請を行う場合には「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド認定申請書様式第2号」の該当箇所(1, 2, 4, 5)をコピーして記入することが可能です。(黄色の網掛け部分)  
 ※川崎メカニズム認証申請書(本書類)に特有の項目の記入欄は緑の網掛け部分です。  
 ※活動量については設定した機能単位当たりの量を記載して下さい。  
 (例:機能単位が「製品Aを10年間使用する」である場合には、使用・維持管理段階は10年間分の活動量を記載して下さい。)  
 ※欄が足りない場合には適宜行を追加して記入して下さい。ただし、自動入力セルの場合その上下のセルに倣って式を入力して下さい。

1. ライフサイクル段階別CO<sub>2</sub>排出量(応募製品・技術)

< 原材料調達段階 > \*「8. 収集活動量の根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
ABS樹脂	樹脂部品成型	3.500E-01	kg	3.980E+00	kg-CO <sub>2</sub> /kg	1.393E+00	②	a(ABS樹脂)
電力	樹脂部品成型	3.000E-01	kWh	4.790E-01	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	1.437E-01	②	a(公共電力)
アルミダイカスト	アルミダイカスト	7.000E-01	kg	4.070E+00	kg-CO <sub>2</sub> /kg	2.849E+00	③	a(アルミニウム・アルミニウム合金ダイカスト)
合計						4.386E+00		

< 生産段階 >

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
電力	アイロン組立	2.850E-01	kWh	4.790E-01	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	1.365E-01	①	a(公共電力)
合計						1.365E-01		

< 流通・販売段階 >

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
トラック輸送(4t車、積載率50%)	樹脂部品成型	5.000E-02	tkm	3.250E-01	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	1.625E-02	④	a(トラック輸送(4トン車:積載率50%))
コンテナ船<4000TEU	アルミダイカスト	8.000E-01	tkm	2.550E-02	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	2.040E-02	④	a(コンテナ船>4000TEU)
トラック輸送(4t車、積載率25%)	アイロン組立	1.500E-01	tkm	5.710E-01	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	8.565E-02	④	a(トラック輸送(4トン車:積載率25%))
トラック輸送(4t車、積載率50%)	製品出荷	1.000E-01	tkm	3.250E-01	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	3.250E-02	④	a(トラック輸送(4トン車:積載率50%))
合計						1.548E-01		

< 使用・維持管理段階 >

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
電力	使用	3.040E+02	kWh	4.790E-01	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	1.456E+02	④	a(公共電力)
水道水	使用	9.100E-02	m <sup>3</sup>	3.480E-01	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	3.167E-02	④	a(上水道)
合計						1.456E+02		

< 廃棄・リサイクル段階 > ※プロセスには破砕、ペレット化などの処理方法を記載してください。

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
アイロン	破砕	1.050E+00	kg	9.080E-03	kg-CO <sub>2</sub> /kg	9.534E-03	④	a(破砕処理)
ABS樹脂	埋立	3.500E-01	kg	3.790E-02	kg-CO <sub>2</sub> /kg	1.327E-02	④	a(埋立処分(一般廃棄物))
スクラップ(アルミ)	リサイクル準備処理	7.000E-01	kg	3.240E-02	kg-CO <sub>2</sub> /kg	2.268E-02	④	b(非鉄金属系廃棄物のリサイクル準備処理)
合計						4.548E-02		

応募製品・技術の機能単位当たりのライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量	1.504E+02	kg-CO <sub>2</sub>
--	-----------	--------------------

2. ライフサイクル段階別CO<sub>2</sub>排出量(比較対象製品・技術)

< 原材料調達段階 >

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
ABS樹脂	樹脂部品成型	4.375E-01	kg	3.980E+00	kg-CO <sub>2</sub> /kg	1.741E+00	④	a(ABS樹脂)
電力	樹脂部品成型	3.750E-01	kWh	4.790E-01	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	1.796E-01	④	a(公共電力)
アルミダイカスト	アルミダイカスト	8.750E-01	kg	4.070E+00	kg-CO <sub>2</sub> /kg	3.561E+00	④	a(アルミニウム・アルミニウム合金ダイカスト)
合計						5.482E+00		

< 生産段階 >

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
電力	アイロン組立	3.400E-01	kWh	4.790E-01	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.16286	④	a
合計						1.629E-01		

< 流通・販売段階 >

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
トラック輸送(4t車、積載率50%)	樹脂部品成型	6.250E-02	tkm	3.250E-01	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	2.031E-02	④	a(トラック輸送(4トン車:積載率50%))
コンテナ船<4000TEU	アルミダイカスト	1.000E+00	tkm	2.550E-02	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	2.550E-02	④	a(コンテナ船>4000TEU)
トラック輸送(4t車、積載率25%)	アイロン組立	1.875E-01	tkm	5.710E-01	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	1.071E-01	④	a(トラック輸送(4トン車:積載率25%))
トラック輸送(4t車、積載率50%)	製品出荷	1.250E-01	tkm	3.250E-01	kg-CO <sub>2</sub> /tkm	4.063E-02	④	a(トラック輸送(4トン車:積載率50%))
合計						1.935E-01		

< 使用・維持管理段階 >

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
電力	使用	3.576E+02	kWh	4.790E-01	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	1.713E+02	④	a(公共電力)
水道水	使用	1.071E-01	m <sup>3</sup>	3.480E-01	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	3.726E-02	④	a(上水道)
合計						1.714E+02		

< 廃棄・リサイクル段階 > ※プロセスには破砕、ペレット化などの処理方法を記載してください。

項目	プロセス	活動量	(単位)	排出原単位	(単位)	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	活動量出典*	原単位出典*
アイロン	破砕	1.313E+00	kg	9.080E-03	kg-CO <sub>2</sub> /kg	1.192E-02	④	a(破砕処理)
ABS樹脂	埋立	4.375E-01	kg	3.790E-02	kg-CO <sub>2</sub> /kg	1.658E-02	④	a(埋立処分(一般廃棄物))
スクラップ(アルミ)	リサイクル準備処理	8.750E-01	kg	3.790E-02	kg-CO <sub>2</sub> /kg	3.316E-02	④	b(非鉄金属系廃棄物のリサイクル準備処理)
合計						6.166E-02		

比較対象製品・技術の機能単位当たりのライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量	1.773E+02	kg-CO <sub>2</sub>
--	-----------	--------------------

3. 耐用年数

耐用年数 ※エネルギー供給の場合は"1"をご記入ください	応募製品の耐用年数 = <input type="text" value="8"/> 年 比較対象製品の耐用年数 = <input type="text" value="8"/> 年
耐用年数の設定の根拠	応募製品 法定耐用年数 比較対象製品 法定耐用年数

4. 機能単位当たりのCO<sub>2</sub>排出削減量の算定結果 ※1~3に入力後、自動計算されます。

機能単位当たりのCO <sub>2</sub> 排出削減量 ※比較対象製品・技術の排出量 －評価対象製品・技術の排出量	算定結果	
	原材料調達段階	1.096E+00
生産段階	2.635E-02	kg-CO <sub>2</sub>
流通・販売段階	3.870E-02	kg-CO <sub>2</sub>
使用・維持管理段階	2.570E+01	kg-CO <sub>2</sub>
廃棄・リサイクル段階	1.618E-02	kg-CO <sub>2</sub>
合計	2.688E+01	kg-CO <sub>2</sub>

5. 川崎市内の事業者による貢献度(削減寄与率)

削減寄与率 ※該当する項目に○印を記入し、寄与率の数値を記入	<input checked="" type="radio"/> 算定ガイドラインにおける値を使用 <input type="radio"/> 自社独自の値を使用  寄与率= <input type="text" value="48"/> %
自社独自の削減寄与率の設定根拠 ※前問で「自社独自の値を使用」を選択した場合のみ記入	

6. 川崎市域外への普及量の把握

採用したデータ ※該当する項目に○印を記入	<input checked="" type="radio"/> 販売量(優先的に採用) <input type="radio"/> 出荷量(販売量が把握できない場合にのみ採用)
A: 全国ベースでの販売量・出荷量 ※金額ではなく数量ベースで記入	応募年度の前年度の販売量・出荷量= <input type="text" value="7000"/> (単位 <input type="text" value="台"/> )
B: 控除すべき川崎市内への販売量・出荷量 ※金額ではなく数量ベースで記入 ※具体的な販売・出荷量が把握できない場合には、全国の値を按分。その際の按分方法についても記載。	応募年度の前年度の販売量・出荷量= <input type="text" value="45"/> (単位 <input type="text" value="台"/> )  按分方法 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">                     国内への販売台数3600台について、統計局、神奈川県統計データから把握した(川崎市の世帯数/全国の世帯数)を乗じて推計。                 </div>
C: 川崎市域外への普及量 ※金額ではなく数量ベースで記入	応募年度の前年度の販売量・出荷量= <input type="text" value="6.955"/> (単位 <input type="text" value="台"/> ) ←自動で計算されます。

7. 域外貢献量の算定結果 ※1~6に入力後、自動計算されます。

域外貢献量 4. 機能単位当たりの削減量 × 5. 削減寄与率 × 6. 川崎市域外への普及量	平成28年度	算定結果	
		原材料調達段階	3.660E+00
生産段階			t-CO <sub>2</sub>
流通・販売段階		1.292E-01	t-CO <sub>2</sub>
使用・維持管理段階		8.581E+01	t-CO <sub>2</sub>
廃棄・リサイクル段階		5.402E-02	t-CO <sub>2</sub>
合計		8.965E+01	t-CO <sub>2</sub>

### 8. 収集活動量の根拠となる出典資料

活動量の出典	
①	当社川崎工場における実測値
②	調達先A社(樹脂部品成型)からの聞き取り
③	調達先B社(アルミダイカスト)からの聞き取り
④	当社による仮定(標準的な製品の製造、流通、使用に関するデータ)
⑤	
排出原単位の出典	
a	産業環境管理協会 CFP算定用二次データ 基本データベースver.1.01
b	産業環境管理協会 CFP算定用二次データ 利用可能データ(国内) ver. 1.04
c	
d	
e	

\*使用時の消費電力量、寿命の延長(使用回数の増加)など、結果に大きく左右する活動量については、根拠となる資料(エビデンス)を添付ください。

\*企業独自のデータベースを使用する際には、その考え方を整理した資料(一般的なデータベースとの比較検討)を添付してください。

\*上記に挙げた活動量の根拠となる出典資料(写しも可)は本申請書とともにご提出ください。

### 9. データ収集の手順

評価対象製品・技術	<p>「樹脂部品成形工程」: 調達先における使用量をヒアリングにより収集。                  「アルミダイカスト工程」: 使用量は実測値から算出。                  「アイロン組み立て工程」: 2016年度の川崎工場における、コンプレッサー、照明、空調による電力消費量の実測値。合計値を製品個数で配分。                  「流通・販売段階」: 輸送実績の平均tkmを設定。                  「使用・維持管理段階」: 設定値より標準的な使用シナリオを設定。                  その他、バイメタル、スイッチ接点、制御基盤は、素材構成が不明であり、取引先へのヒアリングにより有効な回答が得られなかったため、調査より除外した。</p>
比較対象製品・技術	<p>「樹脂部品成形工程」: 応募製品は比較対象製品に比べ当該原材料が20%削減されていると仮定。                  「アルミダイカスト工程」: 応募製品は比較対象製品に比べ当該原材料が20%削減されていると仮定。                  「アイロン組み立て工程」: 2014年度の川崎工場における、コンプレッサー、照明、空調による電力消費量の実測値。合計値を製品個数で配分。                  「流通・販売段階」: 輸送距離は応募製品と変わらないため、原材料の削減に伴い重量が20%削減されていると仮定。                  「使用・維持管理段階」: 応募製品は比較対象製品に比べ使用時のエネルギー消費量、水使用量が15%削減されていると仮定。                  「廃棄段階」: 応募製品は比較対象製品に比べ原材料が20%削減されることから、廃棄にかかるエネルギー消費量についても20%削減されていると仮定。</p>

# 11 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド同時認定申請書

## 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド同時認定申請書

平成 年 月 日

(あて先)低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会 会長

※低CO<sub>2</sub>川崎ブランドに同時申請する場合のみ本申請書を記入・提出してください。

<p>①川崎市との関わり★ ※該当する項目に○印を記入</p>	<p>( <input type="checkbox"/> ) 応募製品・技術の研究開発(確立)が川崎市内で行われている          ( <input checked="" type="checkbox"/> ) 応募製品・技術の製造が川崎市内で行われている          ( <input type="checkbox"/> ) 応募サービスの企画(確立)が川崎市内で行われている          ( <input type="checkbox"/> ) 応募サービスの提供が川崎市内で行われている</p>
<p>下記の認定・大賞選定基準については、該当する項目にご記入の上、説明資料等を添付してください。          ※認定された際に、紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。</p>	
<p>②応募製品・技術(サービス)の独自性・先進性</p>	<p>コードレススチームアイロンXX02は、本体のコンパクト化により、従来製品に比べライフサイクルの全ての段階でのCO<sub>2</sub>排出量を削減することができ、ライフサイクルを通じた削減に大きく貢献している。</p>
<p>③応募製品・技術(サービス)による市民、社会全体の取り組みの推進効果</p>	<p>-</p>
<p>④応募製品・技術(サービス)による国際的な貢献</p>	<p>2016年度の販売実績(7000台)のうち、中国など日本以外のアジア圏での販売実績が約5割(3400台)であり、日本だけでなくアジア全体での排出削減に貢献することができる。また、海外への年間販売台数については、従来の機種(XX01)に比べ倍増しており、今後も新規開拓を進めていく予定である。</p>
<p>⑤応募製品・技術(サービス)による川崎の特徴・強みを活かした低炭素社会の構築への貢献度</p>	<p>-</p>